

## 第3学年進路通信 ⑪

H28.1.29

### 国公立大学2次試験 出願はじまる

すべての日程をこの時期に一括出願！！

1月25日から2月3日までの間、国公立大学2次試験の出願受付が行われています。(ただし、必着か消印有効か等については各大学により異なるので、要確認のこと。)

前期日程だけでなく、全ての日程をこの期間に出願しなければいけない点に充分注意してほしい。

国公立大学はセンター試験自己採点結果をみて、自分の位置におおよそ見当をつけた上で出願することができるので、その意味では計算を立てやすいと言えます。

国公立大進学への強い気持ちを確認し、自分の強みを最も活かせるところを探り、自信を持って出願したいものです。

前期日程に本命を持ってくることはもちろんですが、そのおさえとして後期日程に合格確実校を配置することが大切です。諸君が目指す大学は、①後期日程は配点が低いこと、②試験そのものを課さないこと、などから出願時点における位置を2次試験によって自力で逆転することはほぼ不可能です。

進学意思の有る後期日程でおさえが利くのであれば、前期日程で挑戦すればよいし、後期日程よりも私大の方に進学する気があるのであれば、その私大合格を確実に取ってきた上で前期日程にアタックすればよいのです。

#### 国公立大と私立大とを天秤にかける場面

進学先を決定する段階で、国公立大から私立大に乗り換えるのであれば、それはどのような場合なのか。具体的なケースを想定し、自分の意思を明確にして出願先を決定したいものです。

たとえば、国公立大前期日程の試験前に、私立大の合格発表がほとんど終わります。したがって、私立大の合格状況を見て国公立大前期の受験そのものを取り止める人が出てきます。もちろん、後期日程も受験しないこととなります。(最後まで頑張りなさいとよく言われるのは、後期日程の欠席率が高くなりチャンスが到来するからです。)

#### 実戦感覚を維持するための私大受験もある

国公立大への進学しか考えていないという生徒諸

君も、前期日程までには1か月程度空くこととなります。その間、不安な気持ちにもなるでしょうし、何と言っても実戦から遠ざかることでその感覚を失うおそれがあります。心配すればキリがありませんが、そもそも2次試験の出願自体、センター試験の自己採点(正確な得点は誰にも判らない。)結果をもとに行ったわけですから、私大受験を組み込み慎重に対応する必要があります。

### 私立大学 入試はじまる

今週(1月下旬)から私大入試が始まりました。センター試験は統一テストであり、何となく目標がぼんやりしていましたが、私大入試はそれぞれターゲットがはっきりしています。とくに、本部キャンパスでの受験は高崎会場受験などとはまた違って、自ずと気持ちが入るものです。

#### ◇工学系

- ①埼玉工業大、日本工業大、千葉工業大、東京工科大、神奈川工科大
- ②東洋大、日本大(生産工)、東京電機大、東京都市大、芝浦工業大
- ③日本大(工)、武蔵野大、工学院大、東京理科大、神奈川大、関東学院大
- ④東海大、青山学院大、明治大、上智大
- ⑤成蹊大、日本大(理工)、法政大、中央大、慶応義塾大、早稲田大

#### ◇経済系

- ①城西大、駿河台大、中央学院大、明海大、帝京大、明星大
- ②高崎商科大、東京国際大、獨協大、国士館大、拓殖大、國學院大、日本大、文教大
- ③立正大、亜細亜大、駒澤大、大東文化大、武蔵大、明治学院大、成城大、学習院大、神奈川大
- ④東海大、東京経済大、専修大、東洋大、法政大
- ⑤成蹊大、中央大、青山学院大、立教大、明治大、慶應義塾大、早稲田大

#### ◇女子大(文)

- ①跡見学園女子大、駒沢女子大、昭和女子大、東京家政大
- ②大妻女子大、聖心女子大、学習院女子大、白百合女子大、実践女子大、日本女子大、東京女子大
- ③清泉女子大、共立女子大、津田塾大

上記のように、順次、レギュラー型の入試が展開していきます。

- ①1月下旬 ②2/1・2・3 ③2/4・5・6 ④2/7・8・9・10 ⑤2/11以降 という基準で分けてある。

### 今更ですが・・・

- (1) 連続受験は2校までとしたい。3校連続はたとえそれが高崎会場であっても厳しいでしょう。体力的にも精神的にも負担が大きくなります。
- (2) 第1志望大学受験の前に、合格安全校を受験しておくことができれば不安の軽減につながり、実力をより発揮できるでしょう。
- (3) 過去問を解き、傾向をおさえた上で受験したい。私大の入試問題はそれぞれに特色があり、偏差値ランクのとおりにはいかない場合があります。

### 私大のレギュラー日程ではない入試

国公立大前期日程(2/25)の前までに、私大レギュラー型入試はひと通り終了。その後はB日程、C日程、2期、3期、後期、3月入試、等々、呼び方はさまざまですが、募集定員の少ない入試が組まれます。これらの入試は、①定員が少ないこと、②私大入試で惜しくも不本意な結果となった受験生が巻き返しを図ること、③国公立大合格が叶わなかった受験生が参入すること、などの事情からして、一般的には難しいとされています。しかし、中には狙い目となる場合もありますので、最後まで頑張ることは大切です。一つ言えることは、3月1日の卒業式までに最低一つの合格を勝ち取るためには、レギュラー日程の私大入試まで決めておく必要があるということです。

加えて、全学部入試、統一入試などと呼ばれ、多くの場合、レギュラー型よりも早期に行われる入試がありますが、(まれに、遅く実施する大学もある。)こちらも一般的には難しいとされます。

### クラス担任の先生への連絡を

私大一般入試、センター利用私大、次から次へと合格発表があります。合格・不合格にかかわらず、お世話になり、心配してくれているクラス担任には必ず連絡を入れましょう。連絡手段(メール等)は各担任と事前に打合せておこう。

### － 2月10日(水)の日程 －

- 1限 年金セミナー
- 2限 有権者教育
- 3限 学年集会
- 4限 LHR・清掃

午後は放課、以後、家庭学習に入ります。

この日までには、私物を完全に片付けてください。(体育館シューズのみ、靴箱へ残しておくこと。)

### － 卒業式予行 2月29日(月) －

この日は、13:00登校(SHR)です。  
ただし、代表生徒は12:00に体育館に集合すること。(該当生徒については後日発表します。)  
寒ければ、タイツ、カーディガン等、規定の範囲内での服装は認められています。ただし、頭髪など、それ以外の身だしなみについては、翌日の卒業式本番に合わせて、きちんと整えてくること。

### ◇卒業式予行の日に行われる同窓会表彰式◇

表彰対象は、3年間で関東大会あるいは全国大会に出場した生徒であり、下記の17名です。

- ・男子バレーボール部(4名)
- ・放送部(3名)
- ・ハンドボール部男子(7名)
- ・陸上競技部(1名 大野佑太くん)
- ・弓道部(1名 中島舜くん)
- ・インターナショナル部(1名 梅内ヴィクトル健吾くん)

### － 卒業証明書交付願 －

2月12日(金)までに事務室へ提出すれば、卒業式当日に交付されます。(県証紙を貼付)  
〆切日を過ぎると、3月1日以降に学校へ取りに来なければなりません。

### － 卒業式の出欠票 －

2月5日(金)までにクラス担任へ提出してください。実際に出席する人数を把握し、式場の座席を調整する都合がありますので、ご協力願います。

### － 卒業式 3月1日 －

卒業証書授与とは別に、式の中で下記の生徒諸君が表彰されます。準備をしておいてください。

#### 〔特別賞〕

- ・男子バレーボール部(4名)
- ・放送部(3名)

#### 〔皆勤賞〕

3年間、欠席・遅刻・早退・欠課が一度も無かった生徒であり、1月28日現在、76名が対象となっています。すでに、クラス担任より確認されていると思いますが、これからも病気や事故などに充分気をつけ、最後まで頑張ってください。

なお、卒業生答辞は、高島一陽くん(前 生徒会会長)が読むことになっています。